

記者資料提供（令和3年6月30日）

阪神国際港湾株式会社事業開発部 久保、向井

（神戸市港湾局 同時発表）

アジア広域集貨促進事業 （神戸港を活用した物流改善のトライアル事業）の募集開始について ～トライアル定着のための制度拡充～

成長著しい東南アジアからの貨物集貨促進のため、平成29年3月に、一般社団法人日本港運協会久保昌三会長の提言のもとアジア広域集貨プロジェクトチーム（チーム長：神戸海運貨物取扱業組合須藤明彦理事長）を設立し、神戸港を活用した物流改善のトライアル事業により国際海上コンテナ貨物の神戸港への集貨を進めております。

これまでの取り組みにより、神戸港を活用した物流改善のノウハウが蓄積されてきたことから、従来事業に加えて、これまでの事業実績をもとに本格運用を目指す取組や、既に実施した事業を異なる事業者が活用する場合の支援を実施することで、更なる神戸港への集貨を図ります。

1. 公募の概要

<趣旨>

- ・成長著しい東南アジア等から神戸港への貨物集貨を図るため、神戸港を活用した物流改善の情報の展開を推進するとともに、トライアルによる物流改善の促進を図るもの。なお、トライアルは神戸港の新たな活用に資する事業を支援する。

<対象事業>

- ・神戸港への国際海上コンテナ貨物の集貨に寄与する以下の改善
 - ① 西日本⇄東南アジア等の物流について、神戸港経由での輸送の改善や神戸港経由への転換を伴う改善を実施するもの。
 - ② 神戸港でのトランシップを伴うもの。
 - ③ 神戸港の高付加価値化（神戸港の物流拠点の機能の拡大、IoTによる効率化、先進的な環境貢献技術（CO2削減等）の導入等）に寄与するもの

<支援対象メニュー>

【既存メニュー】

- A. 本事業で効果の検証がなされていない新規案件に関するトライアル
1事業あたり100万円を上限にトライアル費用を支援。

【新メニュー】

- B. 本事業で既に効果の検証がなされたものと同じの案件に関するトライアル
 - ① 同一案件について既にAの支援を受けた事業者

5 TEU 以上の輸送を実施する場合に、1 事業あたり 50 万円を上限にトライアル費用を支援。

② ①以外の事業者

1 事業あたり 75 万円を上限にトライアル費用を支援。

※ B の支援を申請できるのは 1 案件につき 1 事業者あたり 1 回までです。

< 支援対象費用の範囲 >

・ トライアル輸送の実施に必要な不可欠と判断できる以下の費用

輸送費、輸出入に係る諸手続き費用、通関等諸費用、マーケティング費用、システム改修費、PR 費用 等

※ 既存ルートからの輸送転換トライアルについては、その差額のみ対象となります。

※ 費用の支援にあたっては、トライアル終了後（支払い時）に費用が確認できる根拠資料等を提出していただきます。

< 対象企業 >

・ 「荷主」又は「物流事業者（船社を含む）」

< 対象期間 >

・ 令和 3 年度内にトライアルを実施するもの

< 募集期間 >

・ 随時（ただし予算を上回る申請があれば締め切らせていただきます）

< 留意事項 >

・ 本事業の趣旨の一つは、神戸港利用促進の営業ツール作成のための具体的な事例収集であることから、以下の協力をお願いいたします。

a. トライアル輸送の効果検証への協力、結果活用への同意

b. 事業者が持つトライアル輸送関連情報（コスト、リードタイム、輸送実績等）の提供（事前・事後）

c. トライアル輸送に係るヒアリング調査への協力（事前・事後）

d. トライアル輸送の結果を神戸港のポートセールス活動で活用（神戸港利用事例として、PR 資料に掲載など）することへの同意

2. ご相談窓口

○ 阪神国際港湾株式会社広域集貨グループ（事業開発部・営業部内）

・ 担当者：久保、向井、三石、横山

・ 電話：078-855-2240（久保、向井）078-855-3206（三石、横山）

・ Email：trial@hanshinport.co.jp

3.資料

- ① [募集要領](#)
- ② [申請書（事業実施申請書、会社概要、誓約書）](#)
- ③ [過去のトライアル実績一覧（詳細はご相談窓口までお問合せください）](#)
- ④ [過去のトライアル実績資料（詳細はご相談窓口までお問合せください）](#)